

NPO 法人ザンビアの辺地医療 を支援する会ニュース(第1号)

平成 24 年 8 月 5 日

文責 理事長 日高良雄

はじめに

7月7日の設立総会から約1ヶ月が経過しました。
会員の皆さんには暑い夏をいかがお過ごしでしょうか。
本日は会員宛ニュース第1号をお届けします。



*宮崎県のマスコット

これまでの経過

1) 法人認証の申請に行ってきました。

です

設立総会の翌日、7月8日の午前中、事務所の所在地である宮崎市役所地域コミュニティ課に出かけ、申請書類を提出してきました。

担当の兒玉さんの説明では、「縦覧期間は、7月9日～9月9日までとなり、その後
に設立認証のご連絡をさせていただく事になります」とのことでした。

2) 理事会を開催し、本会の英語の名称とその略称を決めました。

英語名称は「Organization to support Rural Medicine in Zambia」とし、
その略称を「ORMZ (mobile clinic)」とすることにしました。「mobile clinic」とは
車を使っての巡回診療ということです。

早速現地で活動している協力者に連絡し、今年の活動計画に示した事業に必要な物品
購入の際の領収にこの名称を使用してもらうこととしました。

3) 会員募集についていろいろとお願いしています。

会員募集に向け、山元香代子先生の出身大学の同級生や同じ宮崎県出身者の皆さんに
メールでお願いをしております。また、各会員の皆さんにも関係する方々へ呼びかけて
いただくようお願いしております。どうぞよろしく願いいたします。

また、自治医大と関連のある公益社団法人地域医療振興協会発行の「月刊 地域医学」
という雑誌に投稿し、より多くの方に法人設置の理解と会員申し込みのお願いをすべく
現在準備中です。

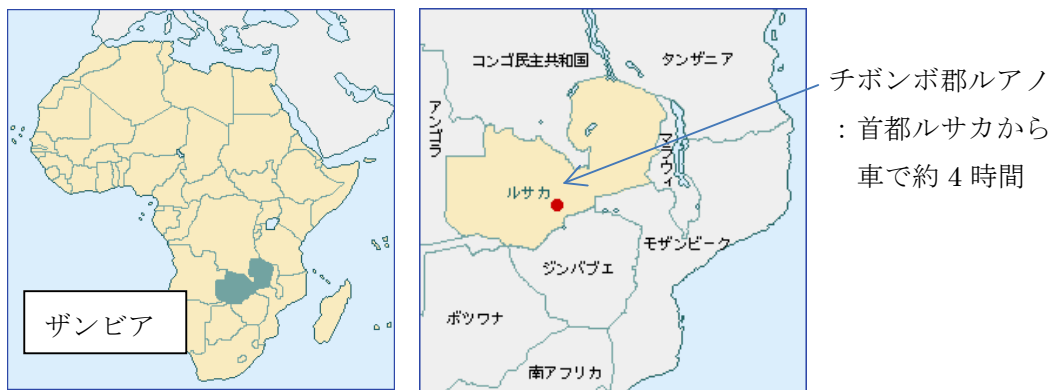
4) 法人 PR に向けた取り組み

吉野会員が中心となって、法人 PR のためのブログか、ホームページを立ち上げるべ
く、現在検討してもらっています。

ザンビアでの活動状況

山元先生のザンビア、チボンボ郡ルアノ地区での活動状況をお知らせします。

山元先生は 2005 年から 2007 年 JICA 専門家としてザンビア共和国の地域保健医療の向上に尽力され、その後のチボンボ郡での現地調査の結果、病院やヘルスセンターから遠く離れた地域の医療環境の改善のために、巡回診療の必要性を感じられ、2010 年ザンビア保健省に巡回診療活動の申請書を提出、同年にはザンビアの医師免許を取得し、2011 年 4 月に巡回診療活動が承認、8 月から現地での準備を始め、10 月からチボンボ郡ルアノ地区等で巡回診療活動を開始されています。



ルアノ地区は、水、電気、トイレもなく、人々は小川の水を飲料に使用している所で、首都ルサカからの道路は、約 1 時間後には砂利道となり、さらに残り 2 時間は岩のごつごつした 4 輪駆動車でないと走れない山道となるところです。

そこまでランドクルーザーの後部に折り畳みのイスやテーブル、医薬品、体重計・血圧計・体温計などの医療器材を詰めたコンテナ 3 箱、カルテ、水などを積み、私とリタタ病院からクリニカルオフィサー（準医師）と助産師、チペンビヘルスセンターから 1 名のスタッフが乗り込み、運転手ともども 5 名一緒にルアノ地区に向かいます。

診療は、住民が建設したカヤぶきのコミュニティスクールを借りて行っています。1 室を診察室、その隣の小部屋にわら敷きの寝台をこさえ妊婦健診室とし、別の 1 室で受付・薬剤の配布を行っています。さらに詳しくはニュース第 2 号でお伝えします。

会員募集と会費納入のお願い

会費については、まだ法人登記が終わっていないため法人の通帳が作成できない状況であり、仮の口座として下記口座へ年会費(5000 円) の送金をお願いします。

「九州労働金庫延岡支店 普通 口座番号 3 7 9 9 8 2 6

名義 ザンビアマラリア支援基金 代表 日高良雄」

現在、寄付の免税対象となります認定 NPO 法人になるために 100 人の会員を集めたいと考えておりますので、よろしければ周囲の方にもぜひ会員募集のお願いをさせていただきますと大変ありがたいです。その際は日高までメールでご連絡下さい、折り返し

関連資料を送ります。